

文部科学省 研究指定

これからの時代に求められる  
資質・能力を育むための  
カリキュラム・マネジメント  
の在り方に関する調査研究  
(平成29・30年度)



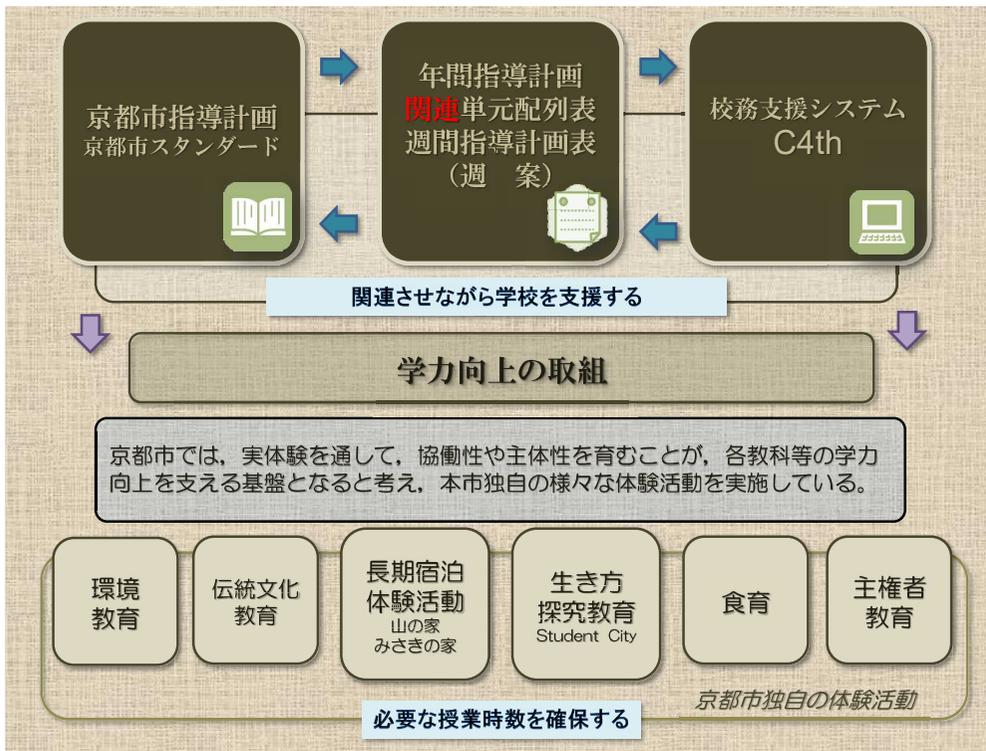
# 京都市 の取組

京都市教育委員会



授業日数の確保と学校への支援





教育委員会の支援体制

学校指導課等  
首席指導主事

連携・協力

総合教育センター等  
指導主事

学校への組織的な支援

定期・不定期の学校訪問  
学校経営・校内研究・学力向上等

■教育課程編成の参考となる  
指針や手引書を作成

- 「学校教育の重点」（平成30年度版）
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」
- 「カリキュラム・マネジメント」
- 「スチューデント・シティ学習を核にした総合的な学習の時間〈例〉」
- 「総合的な学習の時間 手引書」
- 「カリキュラム・マネジメント情報」  
(月ごとの支部校長会で)

平成30年度  
学校教育の重点  
一貫性と文化を  
伝統と文化を  
現代と融合する  
主体的・対話的で深い学びの  
実現に向けて

カリキュラム・マネジメント

スチューデントシティ学習  
実践報告書

Student City  
スチューデントシティ学習を核にした  
総合的な学習の時間〈例〉

京都市の取組【外国語活動の充実】

平成29年度  
全小学校の3・4年生は年間12～16時間の外国語活動  
□「英語研究拠点校」（平成26年度～）の小学校では...  
3・4年生は年間20～35時間の外国語活動  
5・6年生は年間55～70時間の外国語活動

教員の指導力向上   児童が英語に慣れ親しむ   時数確保への試行的実践

平成30年度  
全小学校の3・4年生は年間23時間以上の外国語活動  
全小学校の5・6年生は年間55時間以上の外国語活動

新学習指導要領への緩やかで円滑な接続

2019年度  
全小学校の3・4年生は年間35時間以上の外国語活動  
全小学校の5・6年生は年間70時間以上の外国語活動

2020年度  
新学習指導要領の全面実施   英語の教科化

カリキュラム・マネジメントの基本方針

効率的で質の高い授業

授業時数が収まればそれでよいのか？

時数対応に終わらない

資質・能力の育成

小学校の授業時数  
年35時間増

授業  
学校行事  
あらゆる教育活動

学びの質を高める  
そのためのカリキュラム・マネジメント

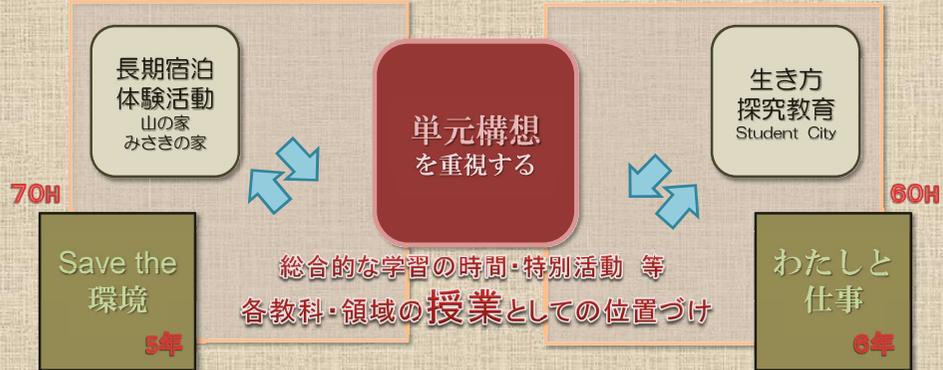
少人数教育   小中一貫教育   義務教育学校

新しい3学期制

学校運営協議会

全市で実施

各教科・領域との関連性を明確に



「環境」とは何だろう。

志ある働き方を考える



### 外国語活動の先行実施

### 45分授業を前提とした教育課程の編成

▶ 授業時数増を短時間学習で対応しない。

### 学校行事や職員会議の工夫や精選

▶ 一定の授業時数を確保する。

### 学校行事と各教科・領域等の授業とを関連付ける

▶ 単元構想を重視して授業づくりを進める。

#### 実践校における取組紹介①

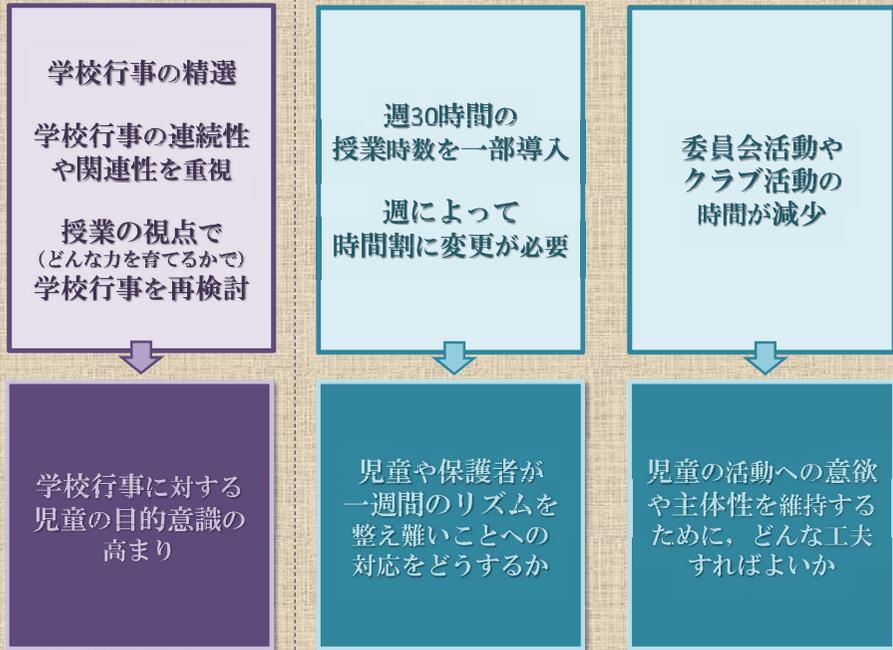
<p><b>年間カリキュラムの作成</b></p> <p>下京雅スタンダード</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 実践を追記して検討協議</li> <li>□ 教科横断的な視点</li> <li>□ 教科間のつながり学校行事との関連</li> <li>□ 次年度へ内容の組織的配列</li> </ul>	<p><b>授業改善の工夫</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 主体的・対話的で深い学び</li> <li>□ 指導案上に「主体的・対話的・深い学び」の区分明記</li> <li>□ 日常的に授業の質を高める取組</li> </ul>
<p><b>学校行事の再編</b></p> <p>■ 下京雅小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 下京雅五大フェスティバル 従来、個別実施していた行事を再編</li> <li>□ 行事のまとまりを学びの連続性で捉える</li> <li>□ 教科・領域の授業とつながる内容に</li> </ul>	<p><b>週時間割の工夫</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 週時間割を二つのパターンで運用「A週」と「B週」</li> <li>□ 「B週」には木曜日6校時の設定</li> <li>□ 木曜日の時間割を工夫</li> </ul>

#### 実践校における取組紹介②

<p><b>5つの視点でマネジメント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学校組織</li> <li>□ 人材</li> <li>□ 時間 (授業・研修・労働時間)</li> <li>□ お金</li> <li>□ 教育 (目的・内容・方法)</li> </ul>	<p><b>授業改善の工夫</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 授業の「振り返りチェックシート」を活用</li> <li>□ 教科横断的な視点を日常的に意識</li> <li>□ あらゆる様式の共通化・共有化に向けた検討</li> </ul>
<p><b>学校行事の精選や工夫</b></p> <p>■ 九条弘道小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学芸会・運動会・遠足について、内容や方法を変更</li> <li>◀ 運動会 ▶ 終日から半日開催へ</li> <li>◀ 学芸会 ▶ 学習発表会、学年発表会へ</li> </ul>	<p><b>会議研修会の工夫</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 20分程度の「ミニ研修会」の実施等により運用を工夫</li> <li>□ 若手道場に、ベテラン教員も育成する立場で参加</li> </ul>

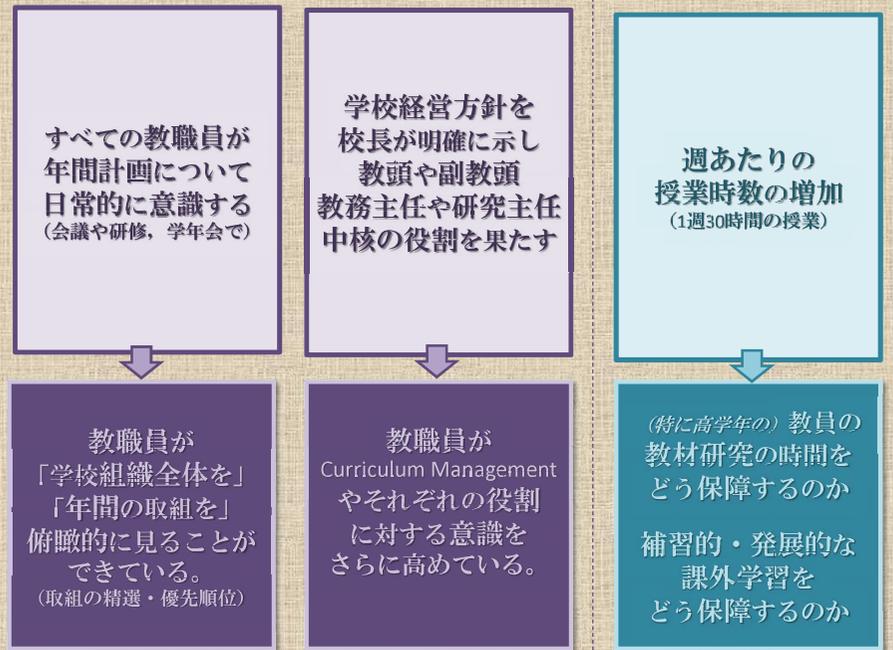
成果と課題 1

■児童の視点から



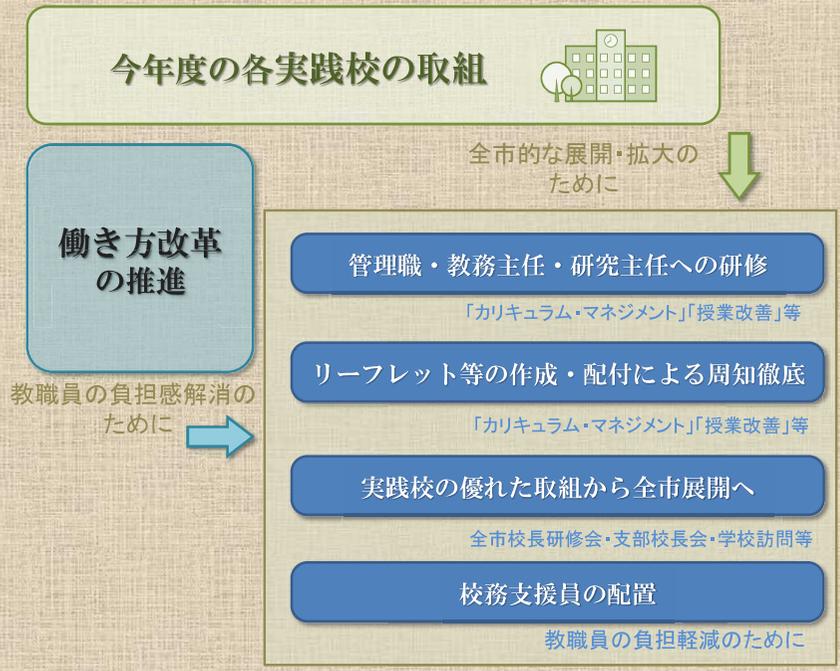
成果と課題 2

■教職員の視点から



成果と課題 3

■教育委員会の手立て



アクティブ・ラーニング&カリキュラム・マネジメントサミット2018

文部科学省 研究指定

これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究 (平成29・30年度)

終了

**京都市の取組**

京都市教育委員会

